

平成30年度 印旛地区教育研究会技術・家庭科研究部総会

平成30年 5月 8日
於 成田市立成田中学校

1 開会の言葉

2 研究部長あいさつ

3 議長選出・書記任命の件

4 報告事項

- (1) 平成29年度 行事報告について
- (2) 平成29年度 決算報告並びに会計監査報告について

5 議 事

- (1) 平成29年度 行事並びに決算承認の件
- (2) 平成30年度 研究部運営方針の件
- (3) 平成30年度 行事並びに予算承認の件

6 旧役員および新役員紹介 新会員紹介

7 その他

- (1) 研究集会について
- (2) 第58回 印旛郡市小学校、中学校技術・家庭科作品展について
- (3) 小学校関ブロについて（今年度実施 千葉大会）
- (4) 中学校関ブロについて（今年度実施 長野大会）

8 閉会の言葉

* 諸連絡

- ・ 懇親会について

平成29年度 印教研技術・家庭科研究部 行事報告

月 日	行 事 名	会 場
4月12日(水)	印旛郡市技術・家庭科研修会	佐倉市立白銀小学校
5月 9日(火)	印旛郡市技術・家庭科研究部 総会	成田市立成田中学校
5月10日(水)	印旛郡市小学校家庭科研修会	もりんぴあこうづ (公津の杜コミュニティセンター)
6月16日(金)	千教研技術・家庭科教育部会研究大会 総会・作品展 印旛支部参加者 10名	市原市立国分寺台中学校
8月 1日(火) ～8月 2日(水)	印旛郡市中学校技術・家庭科実技研修会	佐倉市立佐倉中学校
8月 1日(火)	印旛郡市技術・家庭科研修会	佐倉市立佐倉中学校
8月 9日(水)	印旛郡市小学校家庭科研修会	成田市立本城小学校
8月10日(木)	印旛郡市小学校家庭科実技研修会	成田市立本城小学校
8月23日(水)	印教研技術・家庭科研修会 101/117名 提案内容 技術2部会：「生徒が基礎基本を自ら確認するための指導について」 技術3部会：「栽培学習への興味・関心を高める指導の工夫」 小 学 校：「食生活を見直し、よりよくしようとする児童の育成」 中学校家庭：「災害時における備えについて、主体的に学習し実践できる生徒の育成」	成田市立成田中学校
10月30日(月)	平成30年度小学校関プロ 事前授業	成田市立公津の杜小学校
11月10日(金)	第33回関東甲信越地区小学校家庭科教育研究会	長野県
11月11日(土)	第14回千葉県中学生創造ものづくり教育フェア *木工2名, ロボコン5チーム, お弁当14チームが参加	総合教育センター
11月14日(火) ～11月15日(水)	関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会	新潟県
11月17日(金) ～11月21日(火)	第57回 印旛地区 小学校家庭科 中学校技術・家庭科作品展 *来場者数702名 *ケーブルネット296による取材・放映	八街市中央公民館
12月 3日(日)	第18回関東甲信越創造ものづくり教育フェア	埼玉県
2月 9日(金)	印旛郡市技術・家庭科研修会	佐倉市立白銀小学校

[千教研技術・家庭科教育部会作品展 入賞者] 期日：6月23日(金)
会場：市原市立国分寺台中学校

- 第18回全国中学生創造ものづくり教育フェア 生徒作品展出品
振興会長賞 「ファイルカバー」 佐倉市立臼井南中学校 吉田 華緒
振興会長賞 「ハーフパンツ・シャツ」 四街道市立四街道中学校 井上 美彩

[第14回千葉県中学生創造ものづくり教育フェア 入賞者]

期日：11月11日(土)
会場：千葉県総合教育センター

- 「ものづくり」部門ー木工の技
1位 県知事賞 成田市立久住中学校 原田 澄大
(全国大会出場)
2位 県会長賞 成田市立久住中学校 原田 大海
- 「ものづくり」部門ーお弁当コンクール
千葉県学校給食会レポート賞 四街道市立四街道西中学校
(岡村 紗都・依田 花凜)
キックマンレポート賞 佐倉市立志津中学校
(原田萌々花・齋藤みずほ・塩出 美帆)

平成29年度 印教研技術・家庭科研究部決算報告

歳入総額 290,000円

内訳

歳入額	歳出額	内容
290,000円	50,000円	小学校家庭科研修会費
	70,000円	中学校技術・家庭科研修会費
	31,124円	研修会・会議等の通信費
	49,781円	郡市作品展(賞状・賞品・紙袋等)
	81,595円	郡技・家センター補助・技家負担金等
	7,500円	講師謝礼・講師弁当代など

会計監査報告

平成30年2月26日、印旛地区教育研究会技術・家庭科研究部の平成29年度の「決算書」、「出納簿」、「領収書綴り」等の記録、保持について、会計監査2名の立ち会いのもとに監査を行いましたので、次のとおり報告致します。

監査の結果、「決算書」、「出納簿」、「領収書綴り」等の記録がすべて適切な状況であることを認めます。

平成30年 2月26日

会計監査 山川 真司 (印)

会計監査 廣田 恭子 (印)

平成30年度 研究部運営方針(案)

- 1 学習指導要領改訂の基本理念を理解し、指導計画や評価計画の再編、題材・教材開発に努める。
- 2 平成30年度関東甲信越地区小学校家庭科教育研究大会千葉大会に向け、研究部員が研究推進や運営に積極的に携わり、大会の成功を目指す。また、研究発表に関わる協議を通して部員相互で資質向上に努める。
- 3 実践的・体験的な学習活動を通して、課題を解決するために工夫し、創造できる能力と実践的な態度の育成を一層重視し、自立的に生きる基礎を培う。
- 4 授業研修会を通して指導力向上を図り、家庭科、技術・家庭科教育の推進並びに教員としての資質の向上を図り、授業における指導方法の工夫・改善（言語活動の充実、地域人材の活用、TT等）に努める。
- 5 小中連携教育・教研活動を積極的に推進して、研究を深め、情報の交換、部員の交流を深める。
- 6 教科情報（題材・教材、指導方法、ワークシート、実態調査等）の提供を通して、部員の研究活動（問題点を見つけ、改善点を探し出す等）の意識を高めると共に資質・力量をつける。
- 7 授業における安全指導、安全管理を一層重視し、機器の保守、管理、安全治具の活用に努める。
- 8 作品展を開催し、部員相互研修の場（小中連携を図る）とするとともに、児童・生徒の学習意欲を喚起するための創意工夫のあふれた題材開発の指針とする。また、地域の啓発活動の一環として推進する。

研究主題

確かな知識と技術を身に付け、社会の変化に対応し、

生活や技術を工夫し、創造する力を育む学習指導のあり方

現代の子どもたちを取りまく生活環境は科学技術の進歩とともに大変便利なものになってきている。しかしながら、子どもたちがものをつくり、活用する生活体験は少なくなってきており、生活に係る知識及び技能などが徐々にではあるが劣ってきている。

新学習指導要領において、小学校では、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成することを重視している。また中学校では、生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを重視している。

それらを踏まえ、授業を通して子どもたちに身近な家庭・社会生活に目を向けさせ、興味・関心を高めることにより、自ら学ぶ意欲が喚起され、生活の基本的な仕組み（技術）が発見できると考える。そして、「生活の営みに係る見方・考え方」や「技術の見方・考え方」を働かせ、問題解決的な学習を充実させることにより、生活や技術に係る基礎的・基本的な知識と技能や技術の習得が図られ、そうすることで自分の適性にあった創意工夫が生まれるものと考えられる。そのことにより児童・生徒一人一人における家庭生活や社会生活が充実し、さらには生活の自立を図ることができるであろうと考え、本主題を設定した。

平成30年度 印教研技術・家庭科研究部 行事計画(案)

月 日	行 事 名	会 場
4月11日(水)	印旛郡市技術・家庭科研修会	佐倉市立白銀小学校
5月 8日(火)	印旛郡市技術・家庭科研究部 総会	成田市立成田中学校
6月27日(水)	印旛郡市小学校家庭科研修会	成田市立公津の杜小学校
6月29日(金)	千教研技術・家庭科教育部会研究大会 総会・作品展	柏市立柏中学校
7月30日(月) ～7月31日(火)	印旛郡市中学校技術・家庭科実技研修会	佐倉市立佐倉中学校
7月30日(月)	印旛郡市技術・家庭科研修会	佐倉市立佐倉中学校
8月 8日(水)	印旛郡市小学校家庭科研修会	成田市立美郷台小学校
8月 9日(木)	印旛郡市小学校家庭科実技研修会	成田市立美郷台小学校
8月28日(火)	印教研技術・家庭科研修会	成田市立成田中学校
10月25日(木) ～10月26日(金)	関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会	長野県
11月 6日(火)	関プロ小学校家庭科研究大会準備会	成田市立公津の杜小学校
11月 7日(水)	関東甲信越地区小学校家庭科研究大会 千葉県小学校家庭科教育研究大会印旛大会	成田市立公津の杜小学校
11月10日(土)	第15回千葉県中学生創造ものづくり教育フェア	総合教育センター
11月30日(金) ～12月3日(月)	第58回 印旛地区 小学校家庭科 中学校技術・家庭科作品展	四街道市立千代田公民館
12月 2日(日)	第19回関東甲信越創造ものづくり教育フェア	新潟県
2月 8日(金)	印旛郡市技術・家庭科研修会	佐倉市立白銀小学校

平成30年度 印教研技術・家庭科研究部予算(案)

内訳 歳入総額 290,000円

歳入額	歳出額	内容
290,000円	50,000円	小学校家庭科研修会費
	70,000円	中学校技術・家庭科研修会費
	30,000円	研修会・会議等の通信費
	50,000円	郡市作品展(賞状・賞品・紙袋等)
	80,000円	郡技・家センター補助・技家負担金
	10,000円	講師謝礼・講師弁当

平成30年度 印教研技術・家庭科研究部役員

	平成29年度	平成30年度
研究部長	工藤 富士雄 (白銀小)	工藤 富士雄 (白銀小)
顧問		
研究部副部長	野村 英二 (志津中) 油座 誠市 (吉岡小) 名池 輝男 (西の原中) 本間 照美 (八街北小)	野村 英二 (志津中) 油座 誠市 (吉岡小) 名池 輝男 (西の原中) 本間 照美 (八街中央中)
事務局長	加藤 恒樹 (印西中)	加藤 恒樹 (印西中)
事務局次長	藤巻 克彦 (桜台中)	藤巻 克彦 (桜台中)
事務局員	佐藤 雅子 (公津の杜小) 石川 美代子 (公津の杜小) 押尾 由美 (みそら小) 工藤 珠貴 (平賀小) 藤沼 真理 (日吉台小)	佐藤 雅子 (公津の杜小) 石川 美代子 (公津の杜小) 押尾 由美 (みそら小) 工藤 珠貴 (吾妻小) 藤沼 真理 (日吉台小)
中学校部長 技術	江原 雅之 (佐倉東中)	江原 雅之 (佐倉東中)
中学校部長 家庭	小出 清美 (八街中)	小出 清美 (八街中)
小学校部長	内山 茂樹 (笹引小)	竹澤 英樹 (八木原小)
中学校部副部長 (技)	伊藤 肇 (四街道西中)	伊藤 肇 (四街道西中)
中学校部副部長 (家)	中野 博子 (千代田中)	中野 博子 (千代田中)
小学校部副部長	児玉 喜久子 (弥富小)	児玉 喜久子 (弥富小)
事業部長	吉田 健 (佐倉中) 細川 浩美 (佐倉中)	吉田 健 (佐倉中) 細川 浩美 (佐倉中)
	角田 正治 (四街道中)	角田 正治 (四街道中)
会計監査	山川 眞司 (原山中) 廣田 恭子 (南山中)	山川 眞司 (原山中) 廣田 恭子 (南山中)

※ 全日中技・家研究会Webページ 印旛支部担当者

	平成29年度	平成30年度
技 術	笠井 一広 (成田西中)	笠井 一広 (成田西中)
家 庭	林 仁美 (八街北中)	林 仁美 (八街北中)
小 学 校	柏木麻理子 (内野小)	柏木麻理子 (内野小)

教研集会について

- (1) 日時 平成30年8月28日(火)
 (2) 会場 成田市立成田中学校
 (3) 役員及び研究員の選出

	技術分野	家庭分野
責任者	中学校部長 江原 雅之(佐倉東中)	中学校部長 小出 清美(八街中) 小学校部長 竹澤 英樹(八木原小)
推進委員	中学校副部長 伊藤 肇(四街道西中)	中学校副部長 中野 博子(千代田中) 小学校副部長 児玉喜久子(弥富小)
助言者	未定	小学校：淑徳大学教授・千葉大学名誉教授 石井 克枝 中学校：千葉県教育庁北総教育事務所指導主事 海老原 恭子
司会 書記 提案	中技術：2部会 中技術：3部会 中技術：1部会 中技術：5部会	中家庭：3部会 中家庭：5部会 中家庭：4部会 小家庭：4部会 小家庭：5部会 小家庭：3部会

印旛郡市小学校家庭科，中学校技術・家庭科作品展について

- 1 期日 平成30年11月30日(金)～12月3日(月)
 2 会場 四街道市立千代田公民館 〒284-0016 四街道市もねの里3-20-30
 電話 043-422-4151
 3 出品点数

	1部会	2部会	3部会	4部会	5部会	計
小学校	58	65	60	18	26	227
中学校 技術分野	37	39	35	14	17	142
中学校 家庭分野	37	39	35	14	17	142
計	132	143	130	46	60	511

- ① 部会ごとに審査して，上記点数とするが若干の増減は認める。
 ② 会場市町校は，小学校10，中学校(技術)10 中学校(家庭)10
 計30点以内出品することができる。(部会の出品点数以外)
 北総教育事務所印旛管内小・中学校 小学校 110校
 中学校 49校

- 4 賞の名称 特別賞・・・ ☆教育長賞 3点(小，中技・家)
 ◎県技術・家庭科研究会長賞
 入賞・金賞・・・全出品作品に賞状

印旛教育研究会技術・家庭科研究部会会則

最終改正 平成28年4月13日

第一章 総則

(名称)

第1条 本会は印旛教育研究会技術・家庭科研究部会と称する。

(目的)

第2条 本会は、技術・家庭科教育の振興を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 技術・家庭科教育振興に必要な研究調査
- (2) 会員の資質向上になる研究大会、講演会等の開催
- (3) 施設・設備の充実を図るための活動
- (4) 機関誌等の発行
- (5) その他、本会の目的達成に必要な事業

(会員)

第4条 本会は、印旛郡内の市町の教職員を持って会員とする。

(組織)

第5条 本会に次の部を置く。

小学校部 1部会, 2部会, 3部会, 4部会, 5部会
中学校部 1部会, 2部会, 3部会, 4部会, 5部会

第二章 役員

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

研究部長1名、顧問(校長経験者で研究部長経験者より1名会長とする)、
副研究部長若干名、小学校部長1名、小学校副部長1名、中学校部長(技
術・家庭)各1名、中学校副部長(技術・家庭)各1名ずつ、事業部長(技
術センター校主任及び1名)3名、事務局長1名、事務局次長1名、事務
局員(中学部は各部会より各1名、小学部は数名)、会計監査若干名

(役員を選出)

第7条 研究部長、副研究部長、会計監査は選考会において選出し役員会で決定し、総会に報告する。

- 2 小学校部長、小学校副部長、中学校部長、中学校副部長、事業部長、事務局長、事務局次長は研究部長が推薦し、役員会で決める。
- 3 部会長は、各部会代表を持ってあてる。また、研究部長の招聘により役員会に出席する。
- 4 選考会の選考委員は研究部長、顧問、各1～5部会の部会長で構成し、研究部長が招聘する。

(役割の任務)

第8条 研究部長は会を代表し、会務を掌握する。

- 2 副研究部長は、部長を補佐し、研究部長事故ある時は会務を代行する。
- 3 研究部長、副研究部長、小学校部長・副部長、中学校部長・副部長、事業部長、事務局長、事務局次長は、役員会を構成し、研究部長の招聘により、会務を審議執行する。
- 4 小学校部長、中学校部長は、部を総括する。
- 5 事務局長・事務局次長は、研究部長の命により会務を処理する。
- 6 会計監査は、本会の経理を監査する。

(役員任期)

第9条 役員任期は1年とする。但し、再任を妨げない。補欠役員任期は、前任者の在任期間とする。

(顧問)

第10条 本会に顧問をおくことができる。

- 2 顧問は、研究部長が推薦し、役員会の決定に基づき委嘱する。
- 3 顧問は、研究部長の諮問に応じて意見を述べることができる。
- 4 顧問に会長をおくことができる。会長は、顧問のまとめ役とする。

第三章 会 議

(会議種別)

第11条 本会の会議は、総会、役員会とする。

(会議の招集)

第12条 各会議は、研究部長が招集する。

(総会)

第13条 本会の総会は、毎年1回年度当初に開催する。但し、役員会の決定、会員の三分の一以上の要請があった場合は、臨時に開催することができる。

(総会の議決事項)

第14条 総会は次の事項を審議決定する。

- (1) 会則の制定及び変更に関すること。
- (2) 事業及び予算決算に関すること。
- (3) その他、会務に関する重要事項。

(役員会)

第15条 役員会は必要に応じてこれを開く。

第16条 事業の執行にあたって、研究部長が認めるときは役員会の承認を経て各種委員会を設置することができる。各種委員会は目的達成までの特別委員会とする。委員は役員会の推薦により研究部長が任命する。

(役員会の決議事項)

第17条 役員会は次の事項を審議決定する。

- (1) 総会提出議案に関すること
- (2) 研究部長、副研究部長、会計監査の選出に関すること
- (3) 部に関すること
- (4) 会務の企画、立案、調整に関すること
- (5) 補欠役員を選出に関すること
- (6) その他、必要事項

(会議の議決)

第18条 総会、役員会の議事は、出席者の過半数を持って決し、可否同数の場合は、議長がこれを決める。

第四章 会 計

第19条 本会の経費は、印旛地区教育研究会会費を持ってあてる。

(会計年度)

第20条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

第五章 付 則

(1) 会の役員は次の会員とする。

研究部長	佐倉市立白銀小学校	校長	工藤	富士雄
事務局長	印西市立印西中学校	教諭	加藤	恒樹
事務局次長	白井市立桜台中学校	教諭	藤巻	克彦
会計監査	印西市立原山中学校	教諭	山川	眞司
会計監査	白井市立南山中学校	教諭	廣田	恭子

(2) (所在地)

この会の事務局は平成28年度より、
「印西市立印西中学校：印西市大森2244」に置く。

(施行期日)

この会則は、平成元年4月1日から施行する。